

我が家の子どもたち

碧南高校PTA

会長 角 谷 竜 彦

我が家には四人の子どもたちがいます。小さい頃は、とっても素直で？可愛かった？？ような気がします、いつのまにやら上から22～20～18～16歳と社会へと一人前に巣立っていかなければならない時が、もうそこまできました。小さい頃はいつも四人が自分にまわりつき、あちらこちらへと出かけましたが、最近では当たり前のことながら、一人一人の友達たちと楽しそうに遊び歩いています。親心としてはホッとしたり、心配したりいろいろ言いたいこともたくさんありますが、できるだけ自分自身の責任で行動できるよう何も言わず、見守っていきたく今は思っています。「子育てとは」なんて難しく考えてみたところで、何も立派なポリシーがあるわけではなく、うまく言葉にすることはできませんが、ただ一つだけ自分の中で親として守ってきたのは、子どもが相談してきたり、何か迷っている時、もちろんアドバイスや選択肢は話しますが、必ず自分で決めさせる、そして自分で決めた事は後悔しない、これだけは言いつづけてきました。これから多くの壁に当たっていくでしょうが、自分の力で前へ進んでいける強さを身につけ、一度の人生を大切に頑張っていきたいです。

教師の役目

碧南市立西端中学校

校長 生 田 弘 幸

いじめ、教師の体罰、児童虐待等々、毎日の新聞でこれらに関わる記事を目にしない日がないほど、深刻な社会問題となっている今日この頃です。どの事柄もあってはならない重大な問題ですが、いつどこにでもありうる問題だとも思います。そして、これら問題が起きないようにするには、地域、学校、保護者が協力して日々の教育活動を行うことが一番大切なことではないかと考えます。

しかし、学校教育の中で「鍛える」ということが難しくなってきました。園芸に例えると、作物は肥料や水をたくさん与えれば、美味しく大きく形の良いものができる、のだと思っていました。どうもそうでない物もあるようです。

静岡県の掛川市に「緑地農法」という独特の方法で、トマトを栽培している処があります。土は、山から掘り出してきたばかりの石ころの混じった痩せた土です。肥料も高価なものは与えず、水の中に化学肥料を混ぜて、ほんの少しだけ与えているだけです。

こうして育てられたトマトの根には、根毛という細か



魔法の言葉で子育てを

碧南市保育所父母の会連絡協議会

田 淵 雪 絵

私は、以前講演会で、「言葉は子供を伸ばすことも潰すことも出来る」と言われました。今までの自分の発言は子供にとって良い言葉であったのか考えるようになりました。そして、言葉を選ぶようになりました。

玄関に脱ぎっぱなしの靴で散らかっているの、「脱いだ靴は揃える！」と何度も言っても直らなかった我が家の子供達。ある日私が、「玄関が片付いていると気持ちがいいよね」と言って、散らかった靴を直していると、いつからか自然と靴がそろうようになってきました。子供達が私に協力してくれた時には、少し大きさに「ありがとう。とても助かった。またお願いね。」と言いました。すると、私が子供を手伝うと「ありがとう」や遊びに連れて行くと「今日は連れて行ってくれてありがとう。」と自然に出てくるようになりました。

私は口うるさく注意することは止め、言葉を少し変えてみただけで、少しずつ子供たちに変化が出てきたように感じます。言葉で人は変わると言うことを実感しています。時には感情的に怒ってしまうこともありますが、これからも、意識して良い言葉で、子供たちのやる気を伸ばしていきたいと思います。

い根が無数に四方八方に広がって根つきます。そして、普通よりたくさん収穫でき、しかも美味しく、そのうえ一般のトマトの30倍のビタミンCが含まれているとい

います。「教育」「子育て」についても同じことが言えるのではないのでしょうか。「早く大きくなれ」「早く立派になれ」といろいろと環境や条件を整えてやるだけが、親や教師の役目ではないでしょう。

「みてくれ」だけを良くするために、よい土や肥料を与え、水を与えるようなことを私たちはしてないでしょうか。根をしっかりはらせるためには、それがかえって障害になっているのでは……。水が足りなければ、自分で吸収できるようなうぶ毛を、自分自身で生やす。これがまさしく『生きる力』そのものであると思います。

個人差はありますが、それぞれの年齢に応じた悩み、苦悩があります。それを体験させることが必要です。自分自身でじっくりと考え、工夫し、決断し、行動しなければ、植物という根は張れません。

根がしっかりしていなければ、美しい花は咲きません。人は花を見ますが、根は見ません。見えないけれど根は一番大切なものです。子どもたちが大地にしっかりと根を張る、それをじっくりと見守る親や教師でありたいものです。

碧南市青少年育成市民会議だより

ふれあい

編 集 発 行
碧南市青少年育成市民会議
碧 南 市 源 氏 神 明 町 4
TEL 〈0566〉 42-3511

2014年成人式『ギフト』

成人式実行委員長

HEXPO 2年 磯貝 和樹

私たち碧南市成人式実行委員8人は、たくさんの方々のご協力のもと、1月12日に無事成人式を終えることができました。

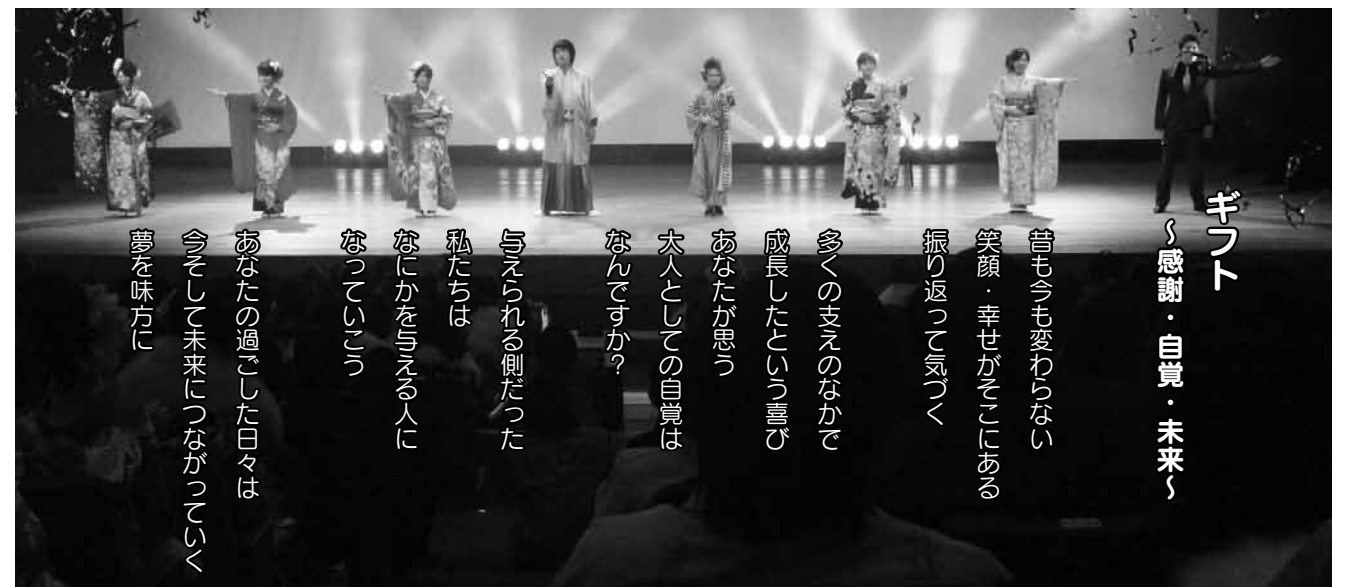
成人式は「ギフト」というテーマのもと、“感謝”“自覚”“未来”という新成人に伝えたい3本の柱を掲げ、式全体を構成しました。「ギフト」には、様々な意味が込められています。例えば、親から授かった命のこと、友達や先生、周りの人との出会いの「ギフト」。また優しさ、ときには厳しさを教えてくれたことも私たちが周りの人から受け取った「ギフト」でした。“何かを与えられる側だった私たちは、成人という節目を機に、何かを与える人になろう”という、メッセージを新成人に伝えようと、語りや手紙、タイムスリップ写真やアカペラを行いました。

約1年に渡る、成人式の準備のなかでは、実行委員8人それぞれに学校や仕事があるため、思うように作業が進まなかったり、考えの違いから些細なことでもぶつかってしまうこともありましたが、しかし、そのたびに、HEXPOの先輩など多くの方々に支えられ、問題に向き合い、投げ出さずに、成人式をやり遂げることができました。式が終わったときには、1年間の成果を出し切った充実感と感動で胸がいっぱいになり、



アカペラで熱唱する実行委員のメンバー

この8人の仲間と成人式実行委員会ができて本当に良かったと思いました。また、多くの新成人、来賓の方々に感動した、という感想をいただきました。人生の新たなスタートラインに立つ新成人の皆さんが、少しでも、これまでの感謝や、大人として生きていく自覚を考える充実した式にすることができて良かったと思います。成人式実行委員会の活動は一区切りを迎えましたが、この経験を生かし、来年の成人式実行委員会へノウハウの継承、HEXPOの活動、またそれぞれの夢に向かって、成人式での誓いを胸に歩んでいきたいと思



ギフト

「感謝・自覚・未来」

昔も今も変わらない

笑顔・幸せがそこにある

振り返って気づく

多くの支えのなかで

成長したという喜び

あなたが思う

大人としての自覚は

なんですか？

与えられる側だった

私たちは

なにかを与える人に

なっていく

あなたの過ごした日々は

今そして未来につなが

夢を味方に

第10回「親子キャッチ575」 最優秀作品と表彰式 青少年育成市民会議

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校からたくさん応募をいただき、4,221点の作品が集まりました。そして、表彰式は平成25年11月17日、碧南市文化会館で行われ、最優秀作品10点と優秀作品代表の合計20点が表彰されました。今年度は人権川柳の表彰もあわせて行われました。

作品のテーマを、「家族・地域の絆」「命の大切さ」「人への思いやり」とし、感心したり、感動したり、うれしい気持ちになったりする作品で、親子の絆の強さを感じるもの、温かい家族の様子が浮かんでくるものがたくさんありました。



受賞者の皆さん



一人ひとりに賞状を渡す青少年育成市民会議会長 鈴木政枝さん

友だちと
遊びに出かけ
「ついできて」
言われた頃が
なつかしい
母

お父さん
いつもトランプ
勝てないよ
あなたの笑顔を
見たいから
父

おじいちゃん
いつもおみやげ
みやげまつ
まごのおかえり
ききたくて
祖父

まっぺパパ
弟まだだよ
驚いた
兄ちゃんらしさ
いつの間に
父

かぞくでね
おうちでごはん
うれしいな
お血を運ぶ
小さな手
母

第10回親子キャッチ575最優秀作品

母さんの
料理うますぎ
慣れた味
おいしく感じる
家の味
母

許可なしに
入ってくるな
入らなきゃ
誰が起こすの？
朝寝坊
母

けんかして
親をおこらせ
腹立つが
遅刻せぬ様
起こす母
母

毎朝の
気持ちこもった
米の量
ますます増えて
たくましく
母

ごめんねと
素直に言えずに
反抗期
成長している
証拠だね
母

各地区の行事 親子でご参加を！

子どもは家庭・地域・学校という環境のなかで、遊びを通してのコミュニケーションを覚え、周りの人たちとの信頼関係を築き、安心して物事に取り組むことができる健全で活力ある子どもに育れます。

その中でも、家庭、とりわけ幼少期での「親子のふれあい」は、子どもの心を豊かに育むものです。親からの愛情は、子どもに喜び、安心、自身、優しさを与えるものです。親子のふれあい活動は社会の進展と家庭をめぐる状況の変化の中で、家庭教育を充実させるため、親子が共通の体験をし、共に感動できる機会を与えてくれます。

碧南市の各地区では親子がふれあえる行事を実施しています。まだ、参加されたことがない方は、一度親子で参加されてはいかがでしょうか。



鷺塚地区「重機試乗体験」



中央地区「防災講座」



大浜地区「うどんづくり」



日進地区「デイキャンプ」

家庭で携帯電話について話し合いましょう

【話し合いの例】

- 携帯電話を何に使うか？
- ネットトラブルについて
- インターネットの利用範囲
- 公共の場で使うマナーやルール



携帯電話のルールを決めましょう

- 食事時の携帯電話の使用は？
- 携帯電話の使用時間や時間帯は？
- 電車の中での使用は？
- 携帯電話を自分の部屋に持ち込まない。
- 学校へは持っていけない。